

平成25年7月2日開催
第1回資金WG提出 事務局資料

参考資料

資金WGについて

市民活動促進担当

平成25年7月2日

共助社会づくり懇談会において指摘された課題について

主な課題

(寄附・会費等の不足)

寄附・会費を集めるための資金調達のノウハウを持つ人材の不足
寄附を仲介できる中間支援組織(市民ファンド、市民コミュニティ財団)の不足
寄附者にとってNPO等に関する情報不足
NPO等に寄附するメリットが感じられない

(融資の供給不足)

一部信金等を除き、NPO等が金融機関から融資を受けることが困難
市民による融資資金で活動しているNPOバンクは発展途上

(その他の不足)

各機関が個別に支援することで、地域の専門家の能力が活かされておらず非効率
不動産寄附について、公益目的であっても間接使用等については、みなし譲渡課税の対象

これまで提案のあった対応策

(寄附・会費等が供給されやすい仕組み)

資金調達のノウハウを持つ人材の育成・確保

市民ファンドの強化・育成

NPO等の活動に関する情報発信

(融資が供給されやすい仕組み)

NPO等の活動に関する金融機関の理解促進
事業計画の策定支援
NPOバンクの強化・育成
信用保証の付与

(その他環境整備)

信用金庫等の地域金融機関、NPOバンク、市民ファンド等の連携、地域の専門家や中間支援組織等をつなげるネットワークづくり
不動産寄附を促進するための環境整備

本日はご議論いただきたいこと

NPO等における資金調達環境を中長期的に改善していくためには、何を、どのような手順で進めて行くべきか

具体的には、

- 寄附・会費が供給されやすい仕組みを構築するにはどうしたらよいか
- 融資が供給されやすい仕組みを構築するにはどうしたらよいか
- その他どのような環境整備を進めればよいか

これらの中で、まず取り組むべきことは何か

寄附・会費が供給されやすい仕組み

NPO等、寄附を受ける側からの論点

- 寄附・会費を集めるための資金調達のノウハウを持つ人材の不足
 - 資金調達のノウハウを持つ人材の育成・確保
 - 具体的にどのようなノウハウか

中間支援組織からの論点

- 寄附を仲介できる中間支援組織(市民ファンド)の不足
 - 市民ファンドの強化・育成
 - 市民ファンドの設立支援なのか、設立された市民ファンドの支援なのか
 - 具体的に必要な支援は何か

寄附者の視点からの論点

- NPO等に関する情報不足
- NPO等に寄附するメリットが感じられない
 - NPO等の活動に関する情報発信
 - NPO等の活動を発信するフォーラムのようなものを開催するイメージか

融資が供給されやすい仕組み

融資をする側からの論点

- 前向きな金融機関がNPO等と協働する場の不足
- 金融機関におけるNPO等の信用の不足
 - NPO等の活動に関する金融機関の理解促進
 - NPO等との協働のメリットを金融機関に理解してもらうためにはどうすべきか
 - 信用保証の付与
 - 信用保証を付与することによる効果をどの程度と見込むか
 - 信用保証をNPOに付与することにリスクはあるか
- 市民による出資金等で活動しているNPOバンクは発展途上
 - NPOバンクの強化・育成
 - NPOバンクがその期待されている機能を果たすにはどういったことが必要か

融資を受ける側からの論点

- NPO等において事業計画等策定のノウハウが不足
 - 事業計画の策定支援
 - NPO等と金融機関で働く人材のネットワークづくりを進めることとするか
- 信用保証がないことで個人保証による融資受入のリスク
 - 信用保証の付与
 - 信用保証を付与することで、融資申請がどの程度増えると思込まれるか

その他環境整備

- 各機関が個別に支援していることで、地域の専門家の能力が活かされておらず非効率
 - 信用金庫等の地域金融機関、NPOバンク、市民ファンド等の連携、地域の専門家や中間支援組織等をつなげるネットワークづくり
 - ネットワークが長期的に機能するためにはどう設計すればよいか
 - 地域の専門家、企業、金融機関にネットワークに参加してもらうにはどうしたらよいか
- 不動産寄附について、公益目的であっても間接使用等がみなし譲渡課税の対象
 - 不動産寄附を促進するための環境整備
 - 間接的であっても、公益目的に使用されていることをどう証明するか
 - 間接使用を認めることでどの程度の資産の移動が見込まれるか